

令和 4 年度

保育園の自己評価表 (園長用)

社会福祉法人慈愛会 諸富保育園

園長 名前 野田慈子

- ・今年度の本園の保育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入してください。

評価…次の基準によって評価欄にA、B、C、Dと記入する

よくできた	A
できた	B
一部改善が必要	C
改善しなければならない	D

1. 保育の理念・保育観

内 容	評 価	自 由 記 載 欄
保育士一人一人が、保育園の保育理念・保育方針を理解している	B	毎日、倫理綱領を読み上げ、養護と教育が一体となった保育を通して、一人ひとりの子どもが心身共に健康安全で、情緒の安定した豊かな環境が準備できるように努力したい。それには保育士自らが多様性を認め、学ぶだけではなく実践し、子どもの発達の保障も意識しながら育ちを支える事が大切。
保育園の保育方針を理解して、保育計画が立てられている	B	
常に保育方針や保育観を確認できるような機会をつくっている	C	
一人一人の主体性を大切にした保育をしている	B	
保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している	B	

2. 保育の内容

内 容	評 価	自 由 記 載 欄
保育方針のねらい及び内容が達成できるような保育課程や保育計画を立てている	B	年齢に応じた発達過程を見極めての保育計画の理解力が、まだ不十分すぎる。今後は園内研修などで学ぶべきだと思う。
保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間計画・月案・週案を立てて	B	
3歳未満児は、現在の姿を理解し、見通しをもって一人一人に応じた保育計画を立てている	B	
配慮の必要な子にはその子に応じた保育計画を立てている	C	

3、食育

内 容	評 価	自 由 記 載 欄
食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている	B	コロナ禍で黙食とはなったが、日々の給食の楽しみの一つとして誕生日の工夫を凝らしたメニューや地産地消の食材を使っての食事を栄養士と保育士が話し合いを深め、食育会議を通して少しでも食事に関心が向くように声掛け、指導ができた。
栄養士・保育士が連携し、会議等で意見を交わしながら、よりよい給食になるよう努めている	A	
できるだけ、地元の食材や旬の食材を取り入れ、様々な食材を味わえるようにしている	B	
給食やおやつは手作りをしている	B	

4、職員構成・役割分担・研修

内 容	評 価	自 由 記 載 欄
職員の仕事や役割が明確であり、連携を取って円滑な園経営ができている	B	
危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制ができている	B	
職員が各委員会に所属し、園の保育や内容を深める為に、それぞれが活発に活動している	B	必要に応じた外部研修ができず、オンライン研修ばかりでの学びが多かった為、反省すべき点が沢山ある。なるべく保育の振り返りをする時間を作り、必要な知識と技能を身につけていきたい。
園内研修と園外研修の計画を立て、実行している	B	
施設設備や遊具等の安全点検を行っている	B	

5、保護者支援

内 容	評 価	自 由 記 載 欄
保護者と良好な関係を作ろうとしている	B	
園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている	B	
保護者の状況を理解し、個人情報の漏洩に気を付けている	C	キャリアアップ等での学びを活かした保護者支援が自然に職員間で出来る事が理想なのではあるが、密になる事が出来なかった部分怠ったと思える。
子育てのパートナとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している	C	

6、子育て支援

内 容	評 価	自 由 記 載 欄
地域に開かれた園として、日々子育てをしている親子を受け入れている	B	感染症発症時の情報提供等は上手く保護者と連携でき、お互い理解を深める事ができた。園と家庭との連絡ノート等や送迎時の会話を通し、互いに成長を喜び合い、子育てについての相談もできて、良い関係性を築けていた。
地域で子育てをしている親子の交流の場となるよう努めている	B	
子どもの心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるようにしている	A	
園生活の子どもの様子を地域にも発信している	C	

7、小学校や地域社会との連携

内 容	評 価	自 由 記 載 欄
定期的に小学校と交流をおこなっている	C	新型コロナウイルス感染症対策を第一に配慮することを考えてしまい、保小連携や地域の行事がほとんど取り組めず大変苦慮した。逆に地域の方々の心温まる言葉掛けが有難く、感謝の気持ちが職員間でより一層高まっていた。
定期的に小学校や幼稚園との会議や職員交流を行っている	B	
高齢者との交流を深め、高齢者の方を敬う気持ちを育てている	C	

改善・検討策など

職場におけるチームワークはもちろん必要であるが、それに関係する他の専門機関との連携を大切に重んじてはいたものの、新型コロナウイルス感染拡大の為に園がクラスターとなり、休園するなど思いもよらぬ事態となり、全体的に保育の質の向上を図ることがほとんど出来ず、ましてや地域との交流も閉ざされ計画通りな保育展開が出来なかった。改善策としては、地域の子どもと保護者、子育て家庭への支援の意識を更に持って地域と連携した活動の計画を立てて、子どもに寄り添う保育の向上を目指した園へと努力していきたいと思う。